



浅口市立鴨方西小学校

かもにしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R 6 . 6 . 2 6



6月26日号では、人権週間の取組、代表委員会、2年生教室の様子をご紹介します。

【人権週間(6月11日～21日)】

6月11日から2週間、本校は人権週間でした。各学級では友達のいいところや友達への感謝の気持ちをメッセージカードに書き出す、「思いやりの水辺」という活動を実施しています。



- 2年生：・ Sさんへ もんだいがわからないとき、いつもよく考えてやっているの
がいいね！
・ Yさんへ 今日のすごろくで、ちょっといやなますが出てもたのしく
やっていてすごいと思ったよ。
- 4年生：・ Mさんへ 暗夜行路でだれかがこけたときに「だいじょうぶ」といって
心配してあげていてやさしかったです。
・ Sさんへ プールするとき、わたしがバタ足をしているときに「バタ足が
きれいだね」と言ってくれてありがとう。ほめじょうずだね。
- 6年生：・ Aさんへ すごく面白くて、みんなを笑わせていていいね！それでも
やる時は真面目にしているメリハリがついていてすごい！これから
もみんなを笑わせて！
・ Rくんへ いつも相談にのってくれてありがとう。みんなにとって、
Rくんは、ムードメーカー的な存在だよ！これからもよろしく！

2年生、4年生、6年生の思いやりの水辺を見比べると、相手を見る視点や語彙や量(何人の友達に書くか)等、子どもたちの成長に目を見張ります。思いやりの水辺は、友達の思いやりに気付いて感謝し、それを具体的な言葉にして価値付ける、素敵な活動です。鴨西の伝統として継続していつてもらいたい活動の一つです。

【代表委員会(6月25日)】

6月25日の代表委員会(児童による、よりよい学校作りのための運営組織)では、150周年記念制作として予定している、『300人の手形で作る壁かけ』に掲載する、スローガンを決定しました。



代表委員会は、文字通り、委員会や学年の代表者が集まった会議なので、出席者は、自分が持ってきた意見の主張を頑張ります。この日は、5年生と6年生が意見を戦わせました。6年生からは、「150周年記念なので、今の鴨西だけでなく、未来の鴨西につながるスローガンがいいと思います。」の意見が出ました。

最終的には、6年生発案の「最高の絆」が選定されました。友達との絆、1年生から6年生の学年をまたぐ絆、地域の人との絆等、色んな思いが込められているとのこと。これから、何年も何十年も、鴨西の昇降口に飾られる記念制作のスローガン、全校児童の思いがこもったものに決まりました。

【2年生教室(6月26日)】

1・2年生は、6月24日に、水辺の楽校に生き物を探しに行きました。その時に見つけた生き物を水槽に移して教室においています。これから、生き物を工夫しながら飼育観察して、自分なりに気付いたことを表現する活動に繋げて行く予定です。

